

ほしぞらメール

発行：那覇市立牧志駅前ほしぞら図書館
〒902-0067 那覇市安里 2-1-1
TEL:917-3450 FAX:866-9243
発行日：2021年4月1日(第111号)



本の検索
はこちら
から!

牧志駅前
ほしぞら



4月 休館日：金曜・祝日・第三水曜日

2021・第63回 こどもの読書週間 (4/23~5/12)

こどもの読書週間とは

子どもたちにもっと本を!との願いから、「こどもの読書週間」は1959年にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日~14日)でしたが、2000年の「子ども読書年」に4月23日(世界本の日・子ども読書の日)~5月12日に期間を延長しました。



4月から5月にかけては、「国際子どもの本の日(4月2日)」「サン・ジョルディの日(4月23日)」など、本の記念日や関連イベントも多く、「子ども読書活動推進法」により4月23日が「子ども読書の日」となった影響もあって、「こどもの読書週間」は年々大きな盛りあがりを見せています。

「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたし、子どもの読書の大切さを考えるときでもあります。

5月 休館日：金曜・祝日・第三水曜日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

いっしょによもう、
いっぱいよもう
2021・第63回 こどもの読書週間
4/23~5/12

リサイクル本の提供

提供期間：4月22日(木)9:30~
図書館前にて配布
※一人5冊まで



〇袋の持参をお願いします。
(無くなり次第終了します)

おはなし会の 開催見合わせについて

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎月第1~第3日曜日の午前中に実施していましたがおはなし会を、当面の間見合わせます。

再開の場合は、那覇市立図書館のホームページや館内掲示にてお知らせします。

ご理解とご協力をよろしく
お願いします。



新着資料(4月)

一般書



資料名	著者名
鎌田實の人生図書館	鎌田 實 // 著
文庫本千秋楽	坪内 祐三 // 著
人生のレシピ	神崎 繁 // 著
哲学トレーニングブック	山口 尚 // 著
脳の取扱説明書	井上 慎介 // 著
自分勝手に生きなさい	下重 暁子 // 著
飽きる勇気	大草 直子 // 著
「謎トキ」世界史写真・絵画が語る歴史	清水書院編集部 // 編
世界を変えた100のスピーチ	コリン ソルター // 著
大和の古墳を歩く	森下 恵介 // 著
たずねる・わかる聖徳太子	古谷 正覚 // 著
許すチカラ	金子 恵美 // 著
1日1ページ、読むだけで身につく日本の教養365	齋藤 孝 // 監修
デンマーク文化読本	長島 要一 // 著
NEWフリーランスの稼ぎ方	山口 拓朗 // 著
こころのソーシャルディスタンスの守り方	大嶋 信頼 // 著
「初めまして」が楽しくなる!初対面の会話術	上前 拓也 // 著
一流の聞く力	福田 健 // 著
私たちはどう働くべきか	池上 彰 // 著
防災イツモマニュアル	防災イツモプロジェクト // 編
保育の中に心地よい暮らしをつくる	ユリア // 著
宇宙大全これからわかる謎の謎	二間瀬 敏史 // 著
漢方で免疫力をつける	仙頭 正四郎 // 著
人の健康は腸内細菌で決まる!	光岡 知足 // 著
キャラでわかる!はじめての免疫図鑑	岡田 晴恵 // 著
「環境の科学」が一冊でまるごとわかる	齋藤 勝裕 // 著

資料名	著者名
もっとラクに生きる!暮らしの整理術100	吉川 永里子 // 著
図案のいらない可愛い刺しゅう	藤本 裕美 // 著
誰も教えなくなった、料理きほんのき	鈴木 登紀子 // 著
アジアの台所に立つとすべてがゆるされる気がした	コウ ケンテツ // 著
カリスマシッターが教える“困ったとき”の育児ワザ	育児サポートを考える会 // 編
海から読み解く日本古代史	近江 俊秀 // 著
日本の美術館で見たい世界の名画と日本の名品100	ぴあ // 出版
手塚治虫のマンガの教科書	手塚 治虫 // 著
筆ペンで書くゆる文字季節のあいさつ	宇田川 一美 // 著
もう一步写真が上手くなるコツ	中井 精也 // 著
世界でいちばん美しい夜空と星たちの物語	MdN編集部 // 編
小説	増田 みず子 // 著
大人の条件	林 伸次 // 著
元女子高生、パパになる	杉山 文野 // 著
大都会の愛し方	パク サンヨン // 著
本当の豊かさ	ジャン ジオノ // 著



おきなわの本



資料名	著者名
首里城 消失から再建への道のり	沖縄タイムス社 // 著
琉球王朝から続く沖縄のツバキ文化	NPO法人 沖縄有用植物研究会 // 著
梯梧燃ゆ 沖縄復帰騒動記	村山 美恵子 // 著
いまでもグスクで踊っている	小原 猛 // 著
「病者」になることとやめること	鈴木 陽子 // 著
ハジチ 蝶人へのメタモルフォーゼ	喜山 莊一 // 著
英語で読む沖縄	小林 悠樹 // 著



じとうしょ

あたらしく入った本



だいまい		かいたひと	だいまい		かいたひと
じ と う し ょ	死について考える本	メリー=エレン ウィルコックス// 作	え ほ ん	まどのむこうのくだものなあに?	荒井 真紀//さく
	地球村の子どもたち 途上国から見た SDGs 2	石井 光太//著		どれもみーんなアントニオ!	スザンナ マッティ アンジェリ//文
	動物たちが教えてくれる海の中のくら し	佐藤 克文//文		ナマケモノのメブくん	かやの しんや//[作]
	eスポーツはじめて事典 1	筧 誠一郎//監修		ほげちゃんとおともだち	やぎ たみこ//作
	再生可能エネルギー図鑑	Loop//監修		アネモネ戦争	上村 亮太//作
	算数ずかん	鈴木 晋一//監修		おとうふ2ちょう	くろだ かおる// さく
	セント・キルダの子	バス ウォー ターズ//文		ねことコップ	高橋 徹//作 絵
	うみのとしょかん あらしがやってき た	葦原 かも//作		ぼく、ひつじじゃなくてぶたなん だ	ピム ラマース //ぶん
	神様のパッチワーク	山本 悦子//作		ぎょうれつのできるスパゲッティ やさん	ふくざわ ゆみこ //さく
	とどけ、サルハシ!	葦原 かも//作		ぶかぶかぽかぽか	ひだの かな代//[作]
	キニ子の日記 上	間部 香代//作		にくのくに	はらぺこめがね//作
	ぼくの席がえ	花田 鳩子//作		おふろ、はいる?	飯野 和好//作
	子どもを守る言葉『同意』って何? YES、NOは自分が決める!	レイチェル ブ ライアン//作		梨の子ペリーナ イタリアのむかし ばなし	イタロ カル ヴィーノ//再話
	文章題がわかる	小林 敢治郎//著		こんがらがっちなにになってすす む?の本	ユーフラテス//さく
	めいたんていサムくん	那須 正幹//作		ねこはすっぽり	石津 ちひろ//文
	猫町ふしぎ事件簿 猫神さまはお怒り です 1	廣嶋 玲子//作		ポポくんのおばけパン	accototo//[作]
	小学生からのなんでも法律相談 1~3 巻	小島 洋祐//監修		つちんこ つっちゃん	石黒 亜矢子// [作]
	わくわく小惑星ずかん	吉川 真//監修		はをみがいてはいけないよ?	ばば おうちかえ る//さく
	私たちのふるさと銘苳 銘苳をよく知 り、使いこなそう!	前原信達//シナ リオ制作		もどっておいで	鈴木 永子//さく
	なぜからはじまる体の科学 脳と体に ワクドキ♡「食べる・出す」編	鯉淵 典之//監修		ちょうちょむすび	琴柱 富美子//文
なぜからはじまる体の科学 脳と体に ワクドキ♡「見る」編	挾間 章博//著	アルマの名前がながいわけ	フアナ マルティ ネス・ニール//作		
マンガうんこことわざ辞典	古屋 雄作//[原作]	その後のカエル達	すみがわ ひろし//著		
Y A	拝啓パンクスノットデッドさま	石川 宏千花//作	だっこでんしゃ	さこ ももみ//さ く	
	GENESIS GENESIS 創元日本SFアンソロジー 2	水見 稜//ほか著	でんしゃえほん	古川 正和//さく	
	世界から守ってくれる世界	塚本 はつ歌//著	なぞなぞのにな	石津 ちひろ//な ぞなぞ	

一般書特集

宇宙がもっと好きになる

ガガーリンが人類初の宇宙飛行を成功させた 1961 年 4 月から今年で 60 年となります。そこで今月は『宇宙がもっと好きになる』をテーマに宇宙に関する本を集めました。宇宙の不思議な魅力に、ぜひ触れてみてください☆



とくしゅう じどうしょよ特集

4月のとくしゅうは

おさるのジョージ

「おさるのジョージ」は 1941 ねんうまれ。ことしで 80 しゅうねんです。えほんをよんでおいわいしよう♪



ほしぞら図書館発 おすすめ絵本紹介!

「おいしそうなしろくま」 柴田ケイコ/作

食べることが大好きなくいしんぼうのしろくまは、「食べもののなかにはいってみたら、どんなかんじかな?」と想像してみることにしました。ごはん、みそしる、たまご焼き、スパゲッティ…。どうなるかな?

食べものの空想をたのしむ「しろくま」シリーズの第一弾です。



実は
この本の作者、
私です!

作者紹介

はいたに けんじろう



灰谷 健次郎

1934 年、兵庫県神戸市に生まれる。大阪学芸大学（現・大阪教育大学）を卒業する。17 年間の教師生活を経て、沖縄・アジアを放浪。その後、作家活動に専念し、1974 年に『兎の眼』を発表。多くの読者の共感を得る。1979 年、同作で路傍の石文学賞を受賞。沖縄を題材にした『太陽の子』『少女の器』『天の瞳』等、著書多数。2006 年 11 月 23 日、72 歳で永眠。

